

(5) 園路の整備状況

園路については、常盤曲輪および毘沙門曲輪とその他で、状況が大きく異なる。公園整備や天守台の展望施設整備では、利便性の向上から舗装で仕上げている。舗装の仕様は史跡景観への配慮として、石（擬石）張りもしくは砂利樹脂のいずれかを採用している。段差の解消として階段を設置しているが、高齢者や車いす利用者への配慮として、適宜スロープを設けている。

常盤曲輪および毘沙門曲輪内の園路は、ほとんどが未舗装のため、降雨時には足もとがぬかるみ、車いす利用者が通行することも困難である。

毘沙門曲輪と本丸を繋ぐ極楽橋からの展望は、本史跡の価値を理解する上でとくに優れている視点場のひとつである。しかし、橋の構造上の問題から安全な通行が難しい場合もある。



アスファルト舗装



コンクリート舗装



砂利樹脂舗装



石（擬石）張り



ウッドデッキ



チップ舗装



未舗装



階段



橋

<園路の種類>

	アスファルト舗装		ウッドデッキ
	コンクリート舗装		階段・橋
	砂利樹脂舗装		
	石（擬石）張り		
	チップ舗装		
	未舗装		

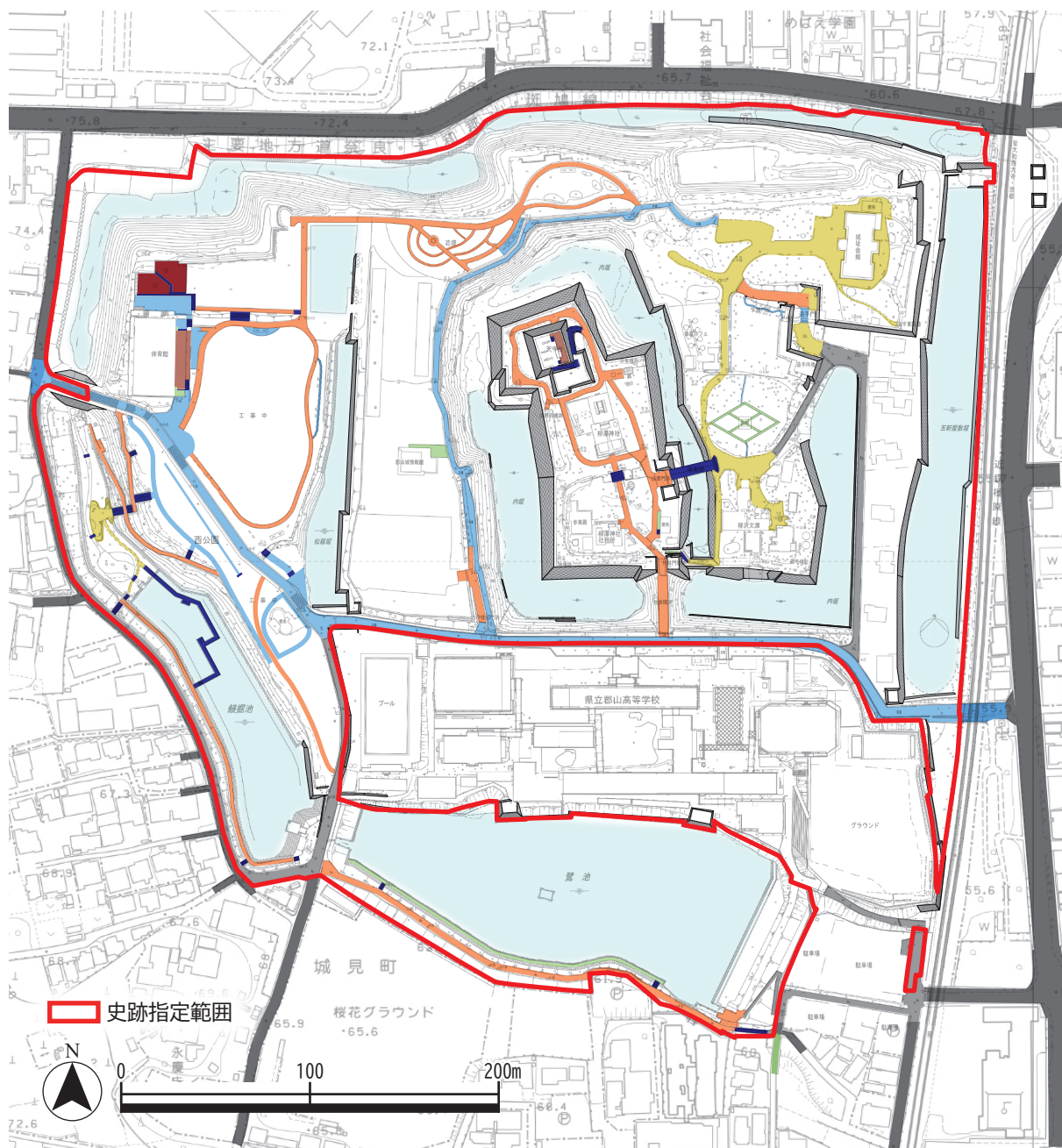


図 3-16 園路の整備状況

(S=1/3,500)

(6) 安全管理施設の整備状況

史跡指定地は石垣や堀が多数残っていることから利用者の安全を確保するため、高所には柵がめぐっている。以前はコンクリートもしくはプラスチック製の擬木柵を整備していたが、天守台展望施設整備以降は金属製の柵で整備している。

コンクリート製の擬木柵は、経年劣化しているものや、足もとが埋まったことにより人止めとしての機能が低下している場所がある。



竹垣



竹垣 ※破損



木柵



擬木柵（コンクリート） ※破損



擬木柵 ※埋没



擬木柵（プラスチック）



ロープ柵



チェーン柵



金属柵



金属柵



金属柵



生垣

<柵の種類>

	竹垣		コンクリート柵
	木柵		玉垣
	擬木柵		フェンス
	ロープ柵		ガードレール
	チェーン柵		生垣
	金属柵		

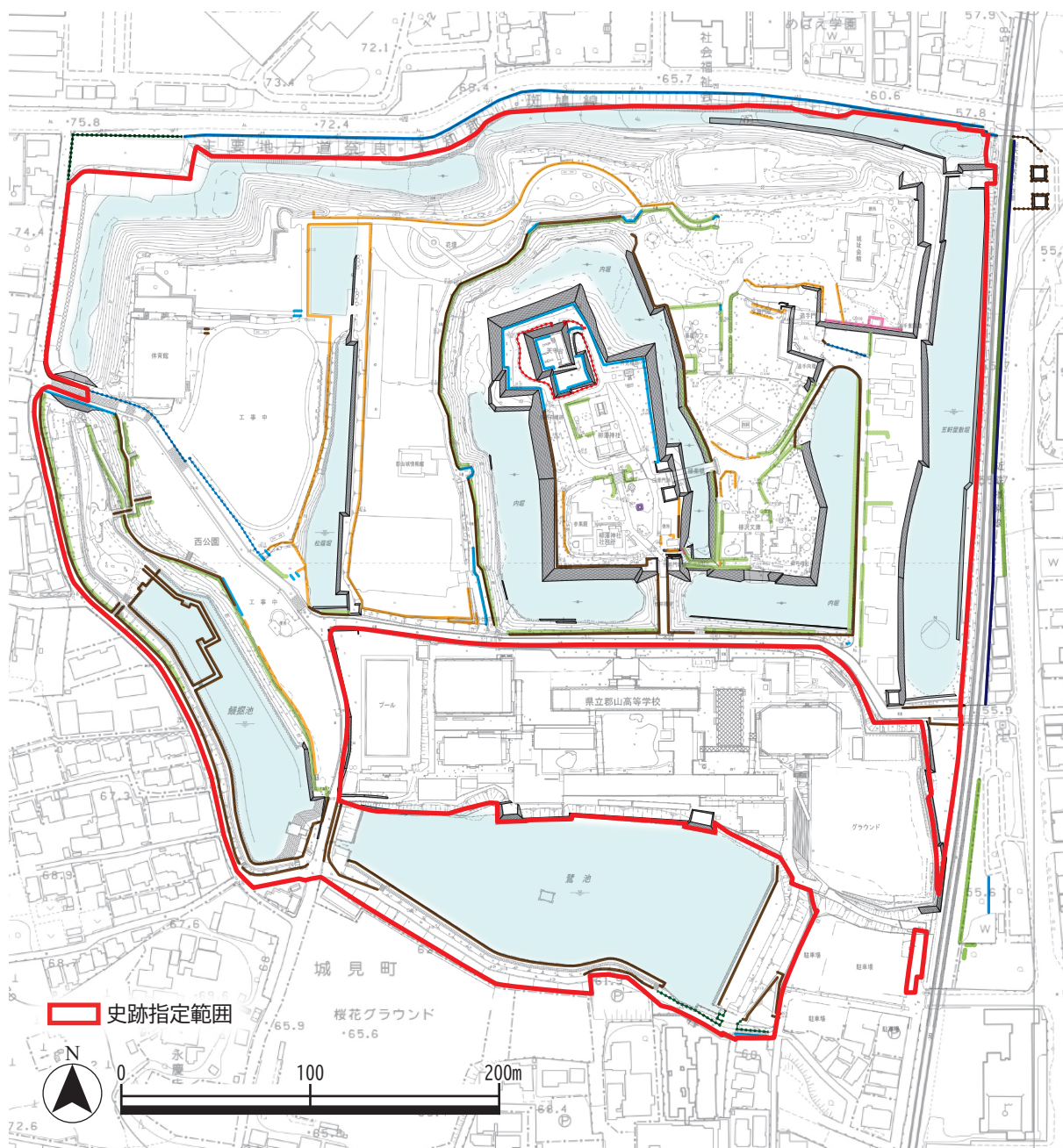


図 3-17 安全管理施設の整備状況

(S=1/3,500)

(7) サインの整備状況

公園整備や天守台展望施設整備により数多くのサインが整備されてきたが、遺構を説明するサインが不足していた。大河ドラマの影響で来訪者の増加が見込まれたことから、令和7年度に説明サインを複数設置した。

設置から時間が経過したものは老朽化が進み、設置者や年度によって意匠が異なる。サインの種類ごとの設置箇所を P66 の平面図（図 3-18）に示す。

<案内サイン>



門型タイプ

<名勝サイン>



ポールタイプ



石柱

<説明サイン>



門型タイプ（屋根付）



門型タイプ（屋根付）



ポールタイプ（屋根付）



門型タイプ



ポールタイプ



斜板タイプ



斜板タイプ



斜板タイプ



平面タイプ